

# 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の 選定地区をご紹介します

## 第12回「ディスカバー 農山漁村(むら)の宝」

内閣官房及び農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や、所得向上に取り組んでいる優良事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定しています。今年度は、有識者懇談会において、全国応募総数454件から30地区が選定され、沖縄県内の「(株)日本バイオテック」が特別賞を受賞しました。受賞団体は、令和8年1月20日に総理大臣官邸で開催された交流会に出席し、内閣官房長官や農林水産大臣等の出席者に対して、取組内容を紹介する等、交流を深めました。



受賞団体と木原内閣官房長官らとの記念撮影



特別賞を受賞



受賞団体との交流会にて海ぶどう商品をPR

株式会社日本バイオテック  
「海ぶどう」で新たな価値を地域と共に創造！

養殖だけでなく、海ぶどうの収穫体験、塩作り、サバニ体験など多様な観光コンテンツを提供。さらに規格外品を活用した商品開発や就労支援施設と連携した農福連携など、地域と一体となった複合型の体験施設運営を展開しています。また、賞味期限が2年間の塩水海ぶどうを開発したことにより、海外15カ国への輸出を実現。「グリーンキャビア」として国内外からの注目が高まり、観光と水産の両面で地域に経済効果を生みだしています。



女性・高齢者・就労支援、誰でも活躍できる環境づくりに取り組んでいる

中には、全国で選定された取組以外にも優れた取組があることから、沖縄独自の特徴ある取組について、令和7年度「沖縄総合事務局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、「徳元佳代子氏」を選定し、令和8年1月22日に選定証授与式を行いました。

徳元佳代子(糸満市)  
「農・人・食・島野菜を未来に繋ぐ」

沖縄県産農産物の魅力や使い方を伝える野菜塾や収穫体験イベント等を開催。伝統的農産物を絶やさないよう魅力やレシピを考案し伝承に努めています。また、農薬の使用を極力減らす工夫やバガス(さとうきびの絞りかす)・堆肥の活用、地力・景観の保持に努め、新規就農者へも技術やノウハウを伝えています。さらに、日本野菜ソムリエ協会の地域校を運営し、12年で219人の野菜・果物の専門家を輩出してきました。



伝統的農産物の使い方講座や野菜ソムリエ資格者の育成を行っている

### 沖縄総合事務局

### 「ディスカバー農山漁村の宝」を選定！

沖縄県内から応募のあった事例の

お問合せ先

農林水産部 農村振興課

☎098-8666-1652